

マイボトル推奨の全面展開検討案

1 マイボトル推奨店の現状

マイボトル持参等の取組の実施を促すため、「マイボトル対応」している店舗について、推奨店として、ホームページへの掲載や街頭キャンペーンの実施などのサポートを行い、市民への啓発活動を実施するとともに、推奨店の拡大を図っている。

マイボトル推奨等サポート事業の概要

対象	マイボトルを持参する者に対して、マイボトルを使用して飲料を販売する店舗
申請方法	推奨店登録申請書をごみ減量推進課へ提出
認定された推奨店への支援内容	①京都市のホームページへ掲載（推奨店、取組内容、地図） ②推奨店へのステッカー、ポスターの配布（推奨店は、ステッカー、ポスターを店内に掲示） ③MAP付きリーフレットの作成・配架 ④街頭キャンペーンでの周知 ⑤市民しんぶんでの周知 等



マイボトル推奨店はタンブラーや水筒などを利用できる店舗です。
お店によっては、割引サービスも！
マイボトル推奨店舗 総数 239店舗

以下については店舗により、取扱いが異なります。
詳しくは各店舗にお問い合わせください。

- ①マイボトル洗浄について（ボトル洗浄場所の設置・洗浄サービス）
- ②マイボトル利用による割引の有無



LAWSON

HPへの掲載



ステッカー

表1 マイボトル推奨店参加状況

	参加店舗	参加店舗
平成 27年度	11社 61店舗	(株)祇園辻利, (株)一保堂茶舗, (株)イノダコーヒ, (株)丸久小山園, スターバックスコーヒージャパン(株), (株)小川珈琲クリエイツ, タリーズコーヒージャパン(株), UCCフードサービスシステムズ(株), (株)永楽屋, (有)前田珈琲, シアトルズベストコーヒージャパン(株)
平成 28年度	12社 222店舗	(株)祇園辻利, (株)一保堂茶舗, (株)イノダコーヒ, (株)丸久小山園, スターバックスコーヒージャパン(株), (株)小川珈琲クリエイツ, タリーズコーヒージャパン(株), UCCフードサービスシステムズ(株), (株)永楽屋, (有)前田珈琲, シアトルズベストコーヒージャパン(株), (株)ローソン

平成 29年度	13社 239店舗	(株)祇園辻利, (株)一保堂茶舗, (株)イノダコーヒ, (株)丸久小山園, スターバックスコーヒージャパン(株), (株)小川珈琲クリエイツ, タリーズコーヒージャパン(株), UCCフードサービスシステムズ(株), (株)永楽屋, (有)前田珈琲, シアトルズベストコーヒージャパン(株), おちやのば, (株)ローソン
平成31年 2月末現在	15社 242店舗	(株)祇園辻利, (株)一保堂茶舗, (株)イノダコーヒ, (株)丸久小山園, スターバックスコーヒージャパン(株), (株)小川珈琲クリエイツ, タリーズコーヒージャパン(株), UCCフードサービスシステムズ(株), (株)永楽屋, (有)前田珈琲, シアトルズベストコーヒージャパン(株), おちやのば, (株)ローソン, (株)ポッカクリエイト (カフェ・ド・クリエ), (株)walden

表2 マイボトル推奨店における取組

店名	マイボトル利用サービス(割引)	マイボトル洗浄可否	マイボトル販売
スターバックスコーヒー	20円引(店頭でお作りするものに限る)	○	○
タリーズコーヒー	30円引(タリーズカードでのお支払の場合:40円引)	○	○
上島珈琲店	50円引	○	×
シアトルズベストコーヒー	20円引	○	○
一保堂茶舗	テイクアウトで20円引	×	○
ほそつじいへえTEA HOUSE	専用メニュー(テイクアウト)で割引	○	×
LAWSON	「MACHI café」のドリンク(一部を除く)10円引	×	×
祇園辻利	専用メニュー(テイクアウト)で30円引	○	×
都路里	専用メニュー(テイクアウト)で30円引	○	×
カフェ おちやのば	50円引	○	×
カフェ・ド・クリエ	テイクアウトで30円引	○	○
walden woods kyoto	自社製ボトルで50円引・他社製ボトルでショップスタンプ2個	○	○
イノダコーヒ	割引はありません	○	×
前田珈琲		×	×
小川珈琲		○	×
丸久小山園		○	×

2 マイボトル推奨の今後の展開案

コーヒーショップをはじめ、平成28年度にはコンビニエンスストアがマイボトル推奨店に登録されるなど、マイボトル対応が進んできている。

今後は、マイボトル推奨店に対し、行政にどのような支援を求めるか等を確認し、新たな支援策を検討・実施していく。また、テイクアウトで飲み物を提供する店舗(コーヒーショップ以外も含む)に対して、マイボトル対応及び推奨店への登録を促すとともに、市民に対しても今までの取組に加え、マイボトルを使ったライフスタイルを習慣付けてもらえるような情報発信を検討していく。

(1) マイボトル推奨店の拡大

- コンビニ各社(現在はローソンのみ)、ファーストフード店において、使い捨てプラ容器の代わ

りに、お客様が持参したマイボトルへの飲料提供が可能となるよう勧奨・調整する。

- 食べ残しゼロ推進店舗（飲食店）において、お客様が持参したマイボトルへの飲料提供が可能となるよう勧奨・調整する。
- 市バス・地下鉄の車内広告による情報発信を行う。

表3 マイボトル推奨店拡大状況

業態	推奨店舗数
コーヒーショップ等	73
コンビニエンスストア	169
合計	242

(2) 給水スポットの登録・情報提供

マイボトルの利用機会を拡大するため、京の水飲みスポット（上下水道局）、公園（建設局）、区役所等の公共施設で給水できるスポットを網羅して情報提供するほか、民間で給水できるスポットの募集などについても検討していく。

(3) 市民・観光客等への情報提供

旅館・ホテルや観光地等にQRコードを設置し、マイボトル推進店舗、給水スポット、食べ残しゼロ推進店舗（飲食店）、2R行動ガイド「しまつのこころ得」等へのアクセスをやすくする。

(4) 事業者への協力依頼

- 旅館やホテルに対して、修学旅行生はもとより、宿泊客が外出時に携帯するマイボトルに飲料提供いただけるよう、協力を依頼する。
- 食べ残しゼロ推進店舗（飲食店）に対して、マイボトル利用者への対応の協力を依頼する。

(5) 環境にやさしい水道水の利用促進

ペットボトル入り清涼飲料水の約4割を水及び茶系飲料が占めている現状を踏まえ、上下水道局と連携し、環境にやさしく（ミネラルウォーターの約700分の1のエネルギー量）、家計にも優しい（ミネラルウォーターの約400分の1の価格）水道水の利用促進に向けたPRに努める。